

漢文の種類

① 白文 はくぶん 送りがないや返り点がない漢文の原文

(例) 不入虎穴、不得虎子

② 訓読文 くんどくぶん 白文に送りがないや返り点をつけたもの

(例) 不入虎穴、不得虎子

③ 書き下し文 くだ 訓読して日本語の語順にしたもの

(例) 虎穴に入らざれば、虎子を得ず

* 歴史的仮名遣いを用いる

* 助詞、助動詞は平仮名にする

* 置き字は無視

返り点

漢文を読む順序を表す記号

① レ点 下の一字から上の一字に返って読む

(例) アイ：イ アの順番で読む

有レ朋 朋有り

② 一・二点… 二字以上、下から返って読む

(例) アイウ…ウ アの順番

疑心生暗鬼 疑心暗鬼を生ず

③ 上・下点… 一・二点をはさみ、さらに上に返

って読むことを示す

(例) アイウオカ

イ・エ・オ・ウ・カ アの順番で読む

有下朋 自远方来

朋远方より来たる有り

送りがないの原則

活用語尾・助詞などを補う

① 漢字の右下につける

② カタカナでつける

③ 漢字より小さく

④ 文語文法の規則に従う

⑤ 歴史的仮名遣いを用いる

置き字

原文にはあるが読まない字

【主な置き字】

矣 而 於 乎 于 焉

助詞・助動詞

書き下し文にするときは平仮名にする

【主な助詞】

自・従 (より) 与 (と)

乎・哉 (や・か) 之 (の)

【主な助動詞】

不 (ず・ざる) 可 (べし) 使 (しむ)

如 (ごとし) 若 (ごとし)

再読文字

二度読む字。返り点を見無視して一度読み、返り点に従って二度目を読む。

【主な再読文字】

未 未だ 猶 猶ほ

須 須らく 宜 宜しく

当 当に 将 将に